

大阪市自動運転バス実装協議会

開催経過

- 第1回(令和5年2月15日)・・・対象ルートの確認、事業者による事例紹介など
- 第2回(令和5年3月22日)・・・ロードマップの確認など
- 第3回(令和5年8月28日)・・・万博での実装に向けた取組状況の確認など
 - 新大阪駅・大阪駅ルートの検討状況 【京阪バス、阪急バス】
 - 万博会場内の外周道路ルートの検討状況 【Osaka Metro】
 - 阪神高速道路の検討状況 【阪神高速】
 - 大阪市における自動運転の今後の方向性の報告 【大阪市】

協議会の目標

2025年大阪・関西万博を契機とした大阪市における自動運転バスの実装に向けて、関係行政機関等による協議等を行い、実装ロードマップ等を検討し、もって都市交通の質の向上を図る

協議会メンバー

学識経験者等	東京大学生産技術研究所 須田 義大 教授 立命館大学環境都市工学科 塩見 康博 教授
行政機関等	近畿地方整備局道路部長、近畿地方整備局建政部長 近畿運輸局自動車技術安全部長 大阪府都市整備部道路室長 大阪市計画調整局計画部長(座長)、都市交通局次長、建設局企画部長 大阪港湾局計画整備部長、万博推進局整備調整部長 (公社)2025年日本国際博覧会協会交通部長 阪神高速道路(株)計画部長
バス事業者	京阪バス(株)、阪急バス(株)、大阪市高速電気軌道(株)
オブザーバー	内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長 大阪府警察交通部交通規制課長

自動運転について

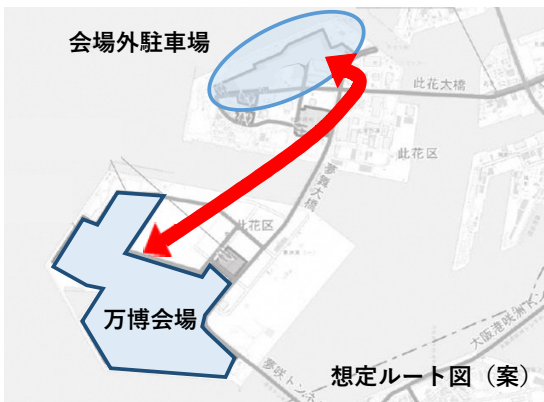
R5.8.28
第3回大阪市自動運転バス
実装協議会資料（抜粋）

想定ルート

① 新大阪駅・大阪駅ルート



② 舞洲駐車場～万博会場



③ 万博会場内の外周道路



京阪バス、阪急バス

淀川左岸線2期を対象とし、運転手が乗車するレベル4相当（道交法対象外）

京阪バス(路線バスタイプ1台)
阪急バス(観光バスタイプ1台)

磁気マーカー、合流支援など

調整中

(想定案：会場駐車場～万博会場間のP&R/バス事業者が実施予定)

調整中

(想定案：レベル4)

※今後、関係者間で安全面・技術面及び運用面で検討を進め、実現可能なレベルを決定していく

調整中
(想定案：路線バスタイプ)

磁気マーカー、信号協調など

※想定

Osaka Metro

レベル4（万博敷地内）
※今後、関係者と調整

大阪メトロ
(EVMJ製小型4台) } GI基金事業で
調達予定

自動運転のための道路側のインフラ設備は整備予定なし
(車両のセンサー、カメラ等に対応)

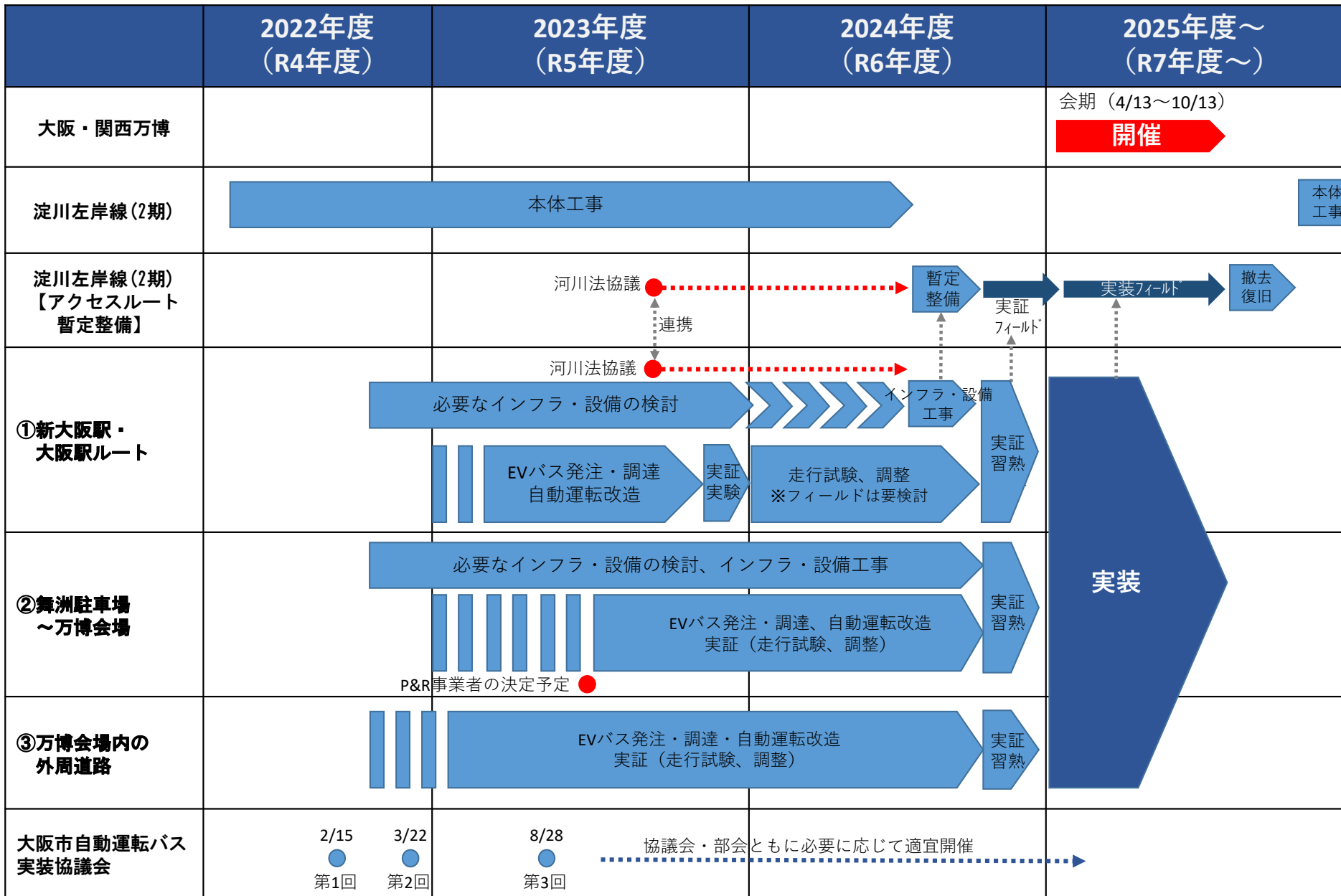
自動運転主体区間

運行車両

インフラ設備

スケジュール（想定）

R5.8.28
第3回大阪市自動運転バス
実装協議会資料（抜粋）



①新大阪駅・大阪駅ルート R5年度の実証実験（自動運転実証事業）

場所 : 淀川緊急用河川敷道路
実施時期 : 2024年2月(1ヶ月間の想定)



JR神戸線
阪神高速池田線

十三バイパス

阪急電鉄
国道176号



淀川緊急用河川敷道路(約1.2km・幅員7m)

①新大阪駅・大阪駅ルート R5年度の実証実験（京阪バス、阪急バス）

2025大阪・関西万博における駅シャトルバス輸送における準備の第一段階として、下記の実証実験を実施

京阪バス

実施目的 : 自動運転装置の機能や合流支援を想定したインフラセンサとの連携について検証する。

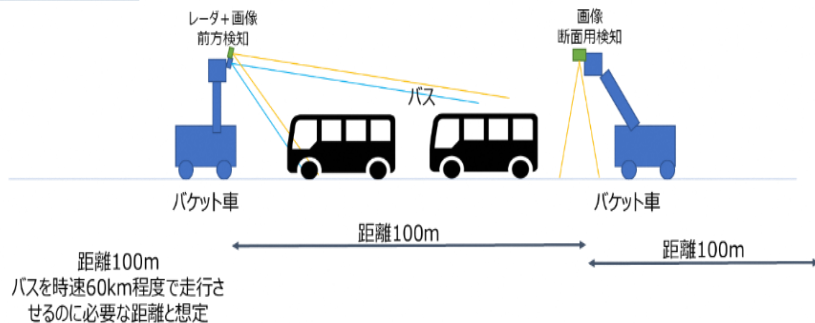
実施概要 : ① 自己位置推定手法切り替え試験 (最高速度60km/h)
② インフラセンサ情報との連携検証 (最高速度50km/h)

道路側設備 : 磁気マーカ(貼付タイプの想定・試験後撤去)、ターゲットラインペイント(塗料)、インフラセンサ(自走式のバケット車に設置)

使用車両 : 10.5m(大型)路線バスタイプ車両(リース)

その他 : 旅客の乗車はなし

実験イメージ



阪急バス

実施目的 : 自動運転装置の機能や走行における安定性を確認する。

実施概要 : ① 自己位置推定手法切り替え試験 (最高速度60km/h)
② 高速運転試験 (最高速度60km/h)

道路側設備 : 磁気マーカ(貼付タイプの想定・試験後撤去)、ターゲットラインペイント(塗料)

使用車両 : 8.8m(中型)観光バスタイプ車両(購入)
※観光バスタイプのEV車両による自動運転(国内前例なし)


その他 : 旅客の乗車はなし



出典:(株)EVモーターズ・ジャパン

「関西MaaS」機能高度化事業

2023年夏にローンチを予定している、関西鉄道事業者の連携によるMaaSである「関西MaaS」について、万博との機能連携も見据え、2025年大阪・関西万博に向けた観光需要促進機能の高度化を推進する。

協議会の 構成員	【協議会代表】大阪市高速電気軌道(株) 近鉄グループホールディングス(株)、京阪ホールディングス(株)、 南海電気鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、阪急電鉄(株)、阪神電気鉄道(株)		<p style="text-align: center;">事業イメージ</p> <p style="text-align: center;">MaaSを通じて提供するサービスを含む事業イメージ</p> 
地域 課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 関西交通事業者の幅広い連携を通じた移動サービスの高度化 ● 2025年大阪・関西万博来場者の輸送円滑化と観光需要促進 		
事業 概要	サービス 開始時期	サービス開始：2023年夏（予定） 機能高度化実装：2023年度末（予定）	
	事業エリア	大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、三重県、和歌山県及び愛知県の一部	
	MaaS システム	協議会により新規構築	
	交通 サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 経路検索機能：一般的機能のほか、協議会構成員（大阪市高速電気軌道、近畿日本鉄道、京阪電気鉄道、南海電気鉄道、西日本旅客鉄道、阪急電鉄、阪神電気鉄道他、協議会構成員グループ事業者等）の静的・動的データ（駅構内図・列車走行位置）に連携する機能を有しており、順次連携を拡大 ● 電子チケット：協議会構成員の企画乗車券を順次収容 	
	交通以外 のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光データベース：関西一円の主な観光施設・イベント情報を掲載 ● 電子チケット：自治体・観光団体との連携により、関西一円の観光施設入場券等を順次収容 	
事業 目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 関西MaaSは関西一円の交通事業者との連携を視野に入れた、日本初の本格的な大規模MaaSとして構築するもので、当面は2025年大阪・関西万博との連携による利用促進を目的としつつ、将来的には広く公共交通の利便性向上に寄与し、多くの交通事業者等が活用できるデータ連携基盤となることを目指している。 		<p style="text-align: center;">評価指標</p> <p>評価指標、目標、測定方法などを記載（2023年度末時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 【選ばれるMaaS】協議会との連携団体数 ● 【使いやすいMaaS】アプリ会員数・チケット発売数 ● 【参画しやすいMaaS】協議会会員数、チケット販売事業者数



関西の交通事業者連携によるおでかけ応援アプリ



ルート検索からスポット情報まで
関西2府5県のおでかけを
もっと楽しく、スマートに!

- 最適ルート
を検索
- 沿線人気
スポット情報
- モデルコース
をご提案
- アプリで
決済



関西に主要路線を持つ、大阪市高速電気軌道株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、南海電気鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、阪急電鉄株式会社、阪神電気鉄道株式会社(以下「鉄道7社」という。)を運営主体とする関西MaaS協議会は、去る2023年9月5日に、関西のおでかけに便利な機能が数多く盛り込まれたスマートフォンアプリ「KANSAI MaaS」をリリースしました。

本アプリでは、主に関西地域におけるマルチモーダルでの乗換経路検索、電子チケットサービス、レジャー・宿泊施設・モデルコース等の観光関連情報の各サービスに加え、駅構内図や列車走行位置情報への連携など鉄道7社ならではの情報サービスも併せてワンストップでご提供いたします。

また、関西MaaSのビジョンであるスマートモビリティリージョン「One Kansai」の実現に向けて、関西地域の交通事業者をはじめ、多種多様なサービス事業者の皆様との連携も進めており、志を同じくする57社局の事業者の皆様と準会員として関西MaaS協議会に入会いただいております(2023年9月5日時点)。

今後、本協議会にご参画いただいた事業者の皆様とともに、本アプリの機能・サービスを逐次拡充し、2025年に控える大阪・関西万博、以降も関西地域の更なる活性化に大きく貢献できるサービスへと進化させ、関西全体を盛り上げてまいります。

ぜひ、そのスタートとなる本アプリ「KANSAI MaaS」をダウンロードいただき、みなさまのおでかけのサポートにお役立てください。

【「KANSAI MaaS」アプリの画面イメージ】



ホーム画面



経路検索(列車走行位置連携)



チケットサービス



観光モデルコース

アプリの詳細は、「KANSAI MaaS」紹介サイトをご確認ください。

<https://www.kansai-maas.jp/lp/>



(令和5年春以降) 万博時における運航イメージのとりまとめに向け、国、各運航事業者、府・市等で具体的な検討・調整

令和5年8月7日 「大阪・関西万博 空飛ぶクルマ 準備会議（第2回）」開催

- ・万博時の2地点間運航の実現に向け、空飛ぶクルマの運航イメージ等について議論。
- ・会場外ポート候補地に、尼崎地区（フェニックス事業用地）が追加され、あらたに兵庫県が構成員として参加。
- ・各運航事業者からの表明を受け、関係者で次のとおり合意。

- 日本航空株式会社は桜島地区、丸紅株式会社は尼崎地区（フェニックス事業用地）、株式会社SkyDriveは大阪港地区（中央突堤）を候補地として、引き続き具体的な検討を進めていくこと
- ANAホールディングス株式会社及びJoby Aviation, INC.は候補地の選定に向けて、引き続き具体的な検討を進めていくこと

令和5年8月30日

博覧会協会 HP公表

「準備会議（第2回）活動報告」

※上記会議結果を公表

大阪市 報道発表

- ・準備会議（第2回）で(株)SkyDriveから中央突堤への運航意思が示されたことを踏まえ、中央突堤を会場外ポート予定地とし、先行してポート整備を進めていくことを決定

令和5年9月8日 大阪市 市長記者会見（報道発表）

- ・中央突堤での会場外ポート整備を進めるため、会場外ポートの整備及び維持管理・運営を行う事業者の公募を開始（公募型プロポーザル方式）

※事業期間は令和9年3月31日まで。事業者からの提案により最長で令和10年3月31日まで更新可。

※土地の使用料等を免除するほか、整備事業にかかる経費（整地・舗装、格納庫・電源設備設置）への補助を行う。

（補助率は補助対象経費3/4を上限とし、補助金額は総額2億7,750万円。補正予算を確保。）